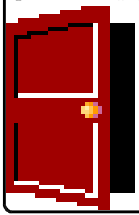


令和5年度《昨年度に続き、今年度も読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

N o 94

桑村小学校令和6年2月13日 文責 渡邊

感じたことを身体で表現する楽しさを体感!!

暖かな日差しを受け、さくら草がきれいに咲いています。そして、校庭の東側にある河津桜もたくさんの花を咲かせようとしています。耳をすますと「ピピピピ」というかわいらしいさえずりが聞こえてきました。じっと目をこらすと、そこには小さな緑色の小鳥が枝から枝へピョンピョン跳ねながら楽しそうに踊っていました。



本校は、このようにいろいろな植物や生物から四季を感じることができます。本当に素敵な学校であることを幸せに思います。

2月7日(水)に、本校では「令和6年度入学生 説明会」を開催しました。保護者の方が学校関係者から説明を受けている時間帯、この4月に入学する園児たちは、音楽室を会場に1年生と交流会を行いました。

その会の中で、1年生は国語科教材の『おおきなかぶ』の話を劇で発表しました。国語科で学び、その話の中から感じたことを、それぞれの児童は登場人物になりきって体全体を使って演じました。



【「おおきなかぶ」の劇①】



【「おおきなかぶ」の劇②】



【「おおきなかぶ」の劇③】



【「おおきなかぶ」の劇④】



【「おおきなかぶ」の劇⑤】



【「おおきなかぶ」の劇⑥】

本校では、令和4年度、5年度の2年間、「豊かな感性」の育成に全校体制で取り組んできました。ここで大切にしてきたことが「感性」の押さえです。子供たちが外界から得た様々な情報を、自分なりに感じ、深く考え、表現活動へとつなげていくことで自分を見つめるというものです。

今回、1年生は国語科のお話から感じたことを「劇」という身体表現で、それぞれの登場人物の心情に迫っていきました。とても素敵な学びだと思います。どの子も笑顔で学習する姿は、教師としてとても嬉しく感じるものです。そして、その劇を見た幼児たちの表情も皆、笑顔で輝いていました。きっと小学校の学習は楽しいものであると感じてくれたことでしょう。

1年生の皆さん、ありがとう。これからも「豊かな感性」の育成を目指して楽しく学習していきましょうね。